

# みちの会だより



## 《議員と語る会》 10月15日(木) 13:30～ 知多市勤労文化会館

(参加者 議員 32名 行政職員 2名 みちの会会員 42名)

### テーマ 「生物多様性(COP10)と男女共同参画について」

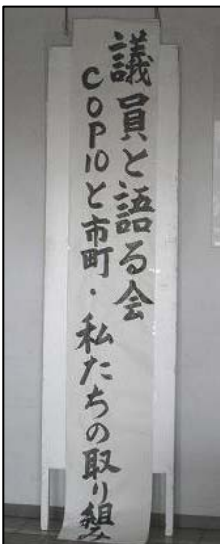
生物多様性の重要なキーワードは、「個性」と「つながり」です。生物多様性と男女共同参画は、一見なんの「つながり」もないように思われるかも知れませんが、人間を含めた全ての生命は、生態系や社会的な「つながり」の中で、それぞれ大切な役割をもって生きています。そして、それぞれが「かけがえのない」存在として「自分らしく」生きられるとき、その「つながり」はより強固なものとなります。生命をつないでいくためには、男女両方の存在が必要なことは言うまでもありませんが、より良い社会を実現するためには、性差等に関わらず全ての存在が等しく尊重され、一人ひとりの「個性」がそれぞれの持ち場で十分発揮されることが大切であると私たちは考えます。

このような視点に立つと、それぞれの場所で、多様な生命が、個性をもって生きるという生物多様性の基本的な考え方は、野生動物だけでなく私たち人間にも重要な意味を持つことが分かります。生物多様性の保全をはじめとした環境や地域での活動で女性の果たすべき役割は大きいため、地域開発みちの会では来年の10月に愛知／名古屋でCOP10が開催されることに合わせて、愛知県チャレンジ女性応援モデル事業として、「生物多様性(COP10)と男女共同参画」の連続セミナーを開催しています。

「議員と語る会」ではグループディスカッションで「行政」「議員」「市民」が取り組むべき課題について話し合いました。

#### (参加者の感想)

COP10 や生物多様性の認知の低さに驚いた。  
生物多様性についてなじみが薄いので行政が問題提起し理解を深める必要がある。



#### スケジュール

セミナー1報告  
セミナー3・4・フォーラム予告  
セミナー2報告  
グループディスカッション  
グループ発表  
議員よりひとことコメント

《セミナー3》 子どもと考える生物多様性

ゲームをしながら「親・子」で生物多様性を考えました

日 時： 11/7 (土) 10:00~12:00 場所 知多市佐布里緑と花のふれあい公園(梅の館)

講 師：青山裕子さん・吉鶴弥生さん (ネイチャーゲームトレーナー)

すばらしい青空の下、親子 100 名が参加。ネイチャーゲームを楽しみました。

ネイチャーゲームとは様々な感覚を使って自然を直接体験する活動です。

いろいろなゲームを通して、自然の不思議や仕組みを学び、自然と自分が一体であることに気づく事を目的とした自然体験プログラムです。豊かな自然の持つ様々な表情を楽しむことができます。



(芝生の上でゲーム)



(絵本の朗読)



(親子で自然探索)

《セミナー4》 ホタルから学ぶ生物多様性

ホタルの生きられる環境から命のつながりを学び、子育てしやすい環境をワークショップで考えました

日 時： 11/21 (土) 13:30~16:00 場所 半田市福祉文化会館 (雁宿ホール)

講 師：榊原 靖さん (環境カウンセラー)

講演 シンボルとしてホタル

水辺環境の再生の象徴、指標生物

「人里昆虫」「文化昆虫」「象徴的環境財」

ホタルは何故減ったのか？

6 度目の大量絶滅→現在進行形？

生物多様性を脅かす要因→開発や乱獲、生息地の減少

はびこる外来生物

自然観察会→身近な自然に親しむお手伝い

ワークショップ (参加者の声から)

次世代に残しておきたい環境とは

ホタルを取ってもしかられない環境を残したい

自然と遊ぶことが日常生活の中に組み込まれた時代にしたい

私たちに出来る事は

地産地消を心がける

余分に買わない・作らない工夫をする

大人が自然に対して関心を持つ

水を汚さないことを考える



(講演中の榊原靖さん)



(絵本の朗読)

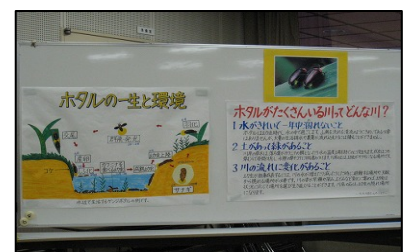


(阿久比町の取り組み)

(展示 ホタルの一生と環境)



(ワークショップ)



◆ 「日本女性会議に参加して」

10/30～31 堺市開催

第10分科会 『女性への複合差別～社会の問題と気づくことから始めよう～』

同性愛者、在日コリアン、被差別部落の方、障害者の4名がパネリストとして、コーディネーターは大阪市立大学人権問題研究センターの准教授が勤められた。冒頭、コーディネーターから、このようなマイノリティの立場の人がパネリストとして登壇されるのは画期的なことだという発言があり、その後それぞれの立場からご自身が日頃蒙っている差別について発言がなされた。社会が人権問題の主題として認識しない差別は、差別とは知らずに差別していることに繋がる。

差別に加担しないために何が差別かを認識することが大切と、正に目からうろこが落ちる思いの分科会だった。(Y・M)

第4分科会 『環境問題』 「ESD の理念とともに～個人から家庭、家庭から地域へ～」

みちの会が今年COP10に関係して取り組みを始めたので、環境について学ぼうと思いいこの分科会を選びました。まずESDとは何ぞやということから学習しなければならなかった。「持続可能な開発とそのための教育」の頭文字だとわかりました。(環境・経済・社会的公正・教育その頭文字Eと持続可能な開発の頭文字SD)当時の小泉首相が提案をしたことが発端になり国連総会で全会一致で採択されたもので、2005年から2014年を「ESDの10年」と定め世界中で取り組んでいます。日本では6つの地域が認定されていて、その一つ北九州の方がパネリストでした。市民一人一人が、問題点を見つけ解決策を考えたら行動を起こし、皆で活動する。この理念を耳にたこが出来るまで人から人へ伝えESDについて理解と普及をして、北九州100万市民が環境首都を目指していきたいと結んだ。この理念は私個人に当てはめても言えることで勇気を頂いたような気持ちになりました。藤井絢子さんの「菜の花エコ革命」の本を販売しているスタッフとおしゃべりしている時、堺市では廃油を回収してゴミ収集車の燃料にしていることがわかりました。常滑は廃油回収を数年前に止めてしまいました。復活するのは大変な労力が要ります。皆さんのお知恵をお借りしたいと思います。(A・I)

☆ 来年の日本女性会議は 10/1～2 京都 での開催です



(全体会)



(ベアテ・ゴードンさんのビデオメッセージ)

◆ 愛知県女性地域実践活動交流協議会

講演会 11/10(火)13:30～ あいちNPO交流プラザ

講演: 「生物多様性とCOP10について」 講師: 愛知県環境政策課 酒井祥巨主幹

県の取り組み COP10を契機とする生物多様性保全に向けた県民協働運動

- いのちを支えるもりづくり……植樹活動
- 身近な生きもの発見……生きもの調査
- クリーンアップ forCOP10……一斉クリーン活動

今後の予定



フォーラム

ひと ひと  
～ 命のつながり 男と女の役割～



女性の環境に関する地域活動へのチャレンジを応援する連続セミナーの締めくくりです

2009年12月13日(日) 13:00～16:00 (知多市勤労文化会館 やまももホール)

- ◆ セミナーの報告
- ◆ パネルディスカッション  
コーディネーター: 石井久子  
パネリスト: 広岡たつみさん・浅野智恵美さん 他
- ◆ 講演「一歩ふみだしてみませんか？」 講師: 広岡たつみさん
- ◆ 環境に関する女性のチャレンジ事例集の紹介



2009 あいち男女共同参画のつどい 「万葉集の植物たち」

12月16日(水) 14:00～ ウィルあいち 4F ウィルホール



新年会 2010年1月26日(火) 11:00～

金山 ANA グラントコート名古屋 30F スターゲイト

参加費 5,000円(フンドリンク付き)

プレゼント交換会 300～500円(それ以上OK)を1品お持ち下さい!

各地区幹事まで申し込みを!

1/18までに



チャレンジ報告会 2010年2月6日(土) 13:00～ ウィルあいち



フォローアップセミナー 2010年2月6日(土) 14:20～ ウィルあいち



会員からのお知らせ



☆東海市 ハンドベルコンサート (あいちトリエンナーレ 2010 パートナーシップ事業)

12月23日(水) 場所: テレビアホール(栄) 16時開演 入場料 2,000円

主催: PRIME 後援: 日本ハンドベル連盟 問い合わせ 尾崎由美子さん 0562(34)2982

☆大府市 第21回 あなたとわたしのつどい 2月13日(土) 10:00～ 大府勤労文化会館

講演: 「まだまだ輝きたい、人生これから」 講師: 辻イト子さん(漫才師) 午後 映画会: 60歳のラブレター

主催: おおぶ女性連絡会 問い合わせ 吉見久恵 0562(47)1079

☆半田市 2010 女(ひと)と男(ひと)のつどい 2月6日(土) 12:00～ 雁宿ホール

テーマ「生きている実感 つながる喜び」 展示会 映画会: のんちゃんのリ弁 600円(前売り500円)

主催: 半田女性活動連絡協議会 問い合わせ 加藤美幸さん 0569(21)7702

～～～編集後記～～～

行政刷新会議の事業仕分け作業が終わりました。無駄を洗い出すことは家庭でも必要ですね。何かと気ぜわしい年の瀬です。新しい年を迎える準備をそろそろ始めなくては!

『みちの会だよりについてご意見ご要望をお寄せ下さい』

発行責任者: 竹内 より子 (TEL/FAX 0562-55-3535)

編集 委員: 吉見 久恵・川口 知里